

福井市森田中学校

7月2日から4日まで北信越方面に修学旅行に行って参りました。1日目は羽田空港から小松空港へと、空路を利用した移動。福井恐竜博物館、金沢金箔貼り。2日目は金沢散策、白川郷散策、立山に宿泊。3日目は、雪の残る立山有料道路で室堂に向かい、電気バス、ロープウェイ、ケーブルカーと乗り継ぎ、黒部ダムへ。黒部ダムでは、トンネルの採掘跡や電気バスの軌道を歩かせてもらい貴重な経験をしました。

今年度の本校の特色ある教育は「交流を軸」としています。福井に行くことになった時から、名所旧跡を巡る旅に加えて、交流を通して自らの考えを伝えるような取組ができないものかと考えていました。福井は、前年度、本校の3年生が陸上で全国大会に出場した地です。同様にバレーボールの全国大会の地でもありました。そのご縁があってつながれた森田中学校の高間（たかま）校長先生に連絡をしてみると、「森田中と清瀬中の交流」について速攻で快諾いただきました。

本校交流委員と森田中の生徒会が事前に2回、オンラインにて打合、当日の企画を考えました。

7月2日、森田中の3年生の待つ体育館に入場すると大きな拍手で迎えていただきました。入口の右には歓迎の手作りポスター。それだけでもテンションが上がります。心遣いに感謝です。

学校紹介、森田中と清瀬中の混合小グループに分かれてのグループエンカウンター、学校にまつわるクイズ、自校以外からお題に則した人を探してくる“借り人競争”結びにそれぞれの校歌を唄うという盛りた くさんのイベント!! 予定時間より延長して盛り上がりました。森田中の司会をつとめた生徒役員はまるでプロのよう。盛り上げようとするその姿勢がうれしい。

生徒同士の交流が進む中、高間校長先生から何人もの森田中の先生方を紹介していただきました。その先生方がこの交流に対して、前のめりで準備してくれたことをお聞きしました。これもまた感謝です。ご縁が繋がりました。



別れの時が来ました。清瀬中の生徒から、森田中の生徒から、「連絡するから」とそこかしこに聞こえました。生徒同士の縁が繋がりました。全体写真を撮影後、正面出口より退場。その際にお菓子と折り紙に書かれたメッセージ付きのお土産が配られました。「来てくれてありがとう」お土産が配られたのではありません。心が配られたのです。

清瀬中がたくさんありがとうを言わねばならないのに、森田中からたくさんのありがとうをいただいてしまいました。本校3学年主任から、「お礼をしたいですね。卒業前に森田中と何か交流できないですかね」

森田中の皆さんからのお心遣い、お心配りをたくさんいただきました。

“縁はあるものではない、紡ぐもの”

森田中と清瀬中の心通う道を切り開きました。ここから始まる心のみちを、『ここ路』と言います。

気持ちが 高ま って参りました。

